

**国境なき技師団は3月、フィリピンレイテ島を訪問します。
台風災害で被災した現地住民の生活を支援するために、ご寄付をお願いします。**

2023. 2

ご支援いただく皆様へ

国境なき技師団の活動に、ご理解いただき有難うございます。
今年の活動の始まりは、3月6日～13日に大学生14名と共に、フィリピンのマニラ地区そしてレイテ島・タクロバン市を訪問します。

フィリピンは、世界で3番目（バヌアツ、トンガに次ぐ）に気候変動に脆弱な国といわれています。島国で各都市の生活インフラは脆弱であり、台風による被災は年々大きなものとなります。昨年2022年10月に上陸した22号により土砂崩れ洪水で170万人もが避難しています。このように毎年10～12月に大きな台風が襲来します。中でも記録的なスーパー台風「ハイエン」の襲来は2014年11月でした。国境なき技師団は被災地タクロバン市の惨状を調査しました。家屋は風に吹き飛ばされ、津波のような高潮で沿岸部は壊滅していました。その時に私たちが撮った写真3枚を示します。



瞬間風速100Mが記録されています。国連機関提供のテントハウスが散在し、生活と復旧に困難を抱えていました。子どもたちは道路端で水の配給を待っています。仮設の居住区はヤシの木で建てた家屋で、臨時的でした。

その後もフィリピンは台風被害が増加しています。このような災害報道は日本では一時的、限定的であり、その後住民の生活は困窮が継続しています。さらにコロナ感染が重なって社会は停滞し、子どもへの教育は閉塞状態、小学校は休校が最近まで続いていました。

次の写真は2020年の台風でマリキナ市の洪水で住民が避難した時の写真です。子どもたちは休校ですが、避難所ではコロナ感染対策のマスクをしています。

(ニューズレター16号、P21 より)



2022年、やっと昨年後半よりフィリピン渡航が可能になりました。私たちは大学生グループ（WASEND）と共にNPO活動の防災教育、被災地お見舞いを再開します。台風被災地（マリキナ市、タクロバン市）を訪問し子供への防災教育を行いますが、被災した子供達の教育環境を改善するためにも災害お見舞い金（義援金）を関係機関に贈呈する計画です。贈呈先については現地で適切な贈呈先を確認して決定することとし、帰国後にご報告いたします。

そこで皆様に、台風災害のお見舞い金を現地に贈呈するため、ご寄付をお願いいたします。

ご賛同いただける方には、1口1,000円（複数口も歓迎いたします）で次の銀行口座、郵貯口座への振り込みをお願いいたします。振込手数料は恐縮ですがご負担ください。

① 銀行振込をご利用の場合

みずほ銀行 麹町支店（店番号021）

口座番号 普通 1216271

口座名 NPO法人 国境なき技師団

② 郵便振替をご利用の場合

記号・番号 00120-8-291689

加入者名 特定非営利活動法人 国境なき技師団

* 郵便局（ゆうちょ銀行）以外の金融機関から振込の場合

ゆうちょ銀行（9900）〇一九店（ゼロイチキュウ、店番019）

口座番号 当座 0291689

口座名 特定非営利活動法人 国境なき技師団

参考

フィリピンは日本列島と同じく自然災害において毎年大きな被害を受けています。特に台風は地球温暖化の影響もあり、大型化しており、その被害は甚大です。過去の台風の進路軌跡を見ると、図-1 の様にフィリピンに向かう台風は少なかったのですが、図-2 の通り最近 2021 年、2022 年の進路ではフィリピンを襲う台風が多くなっています。

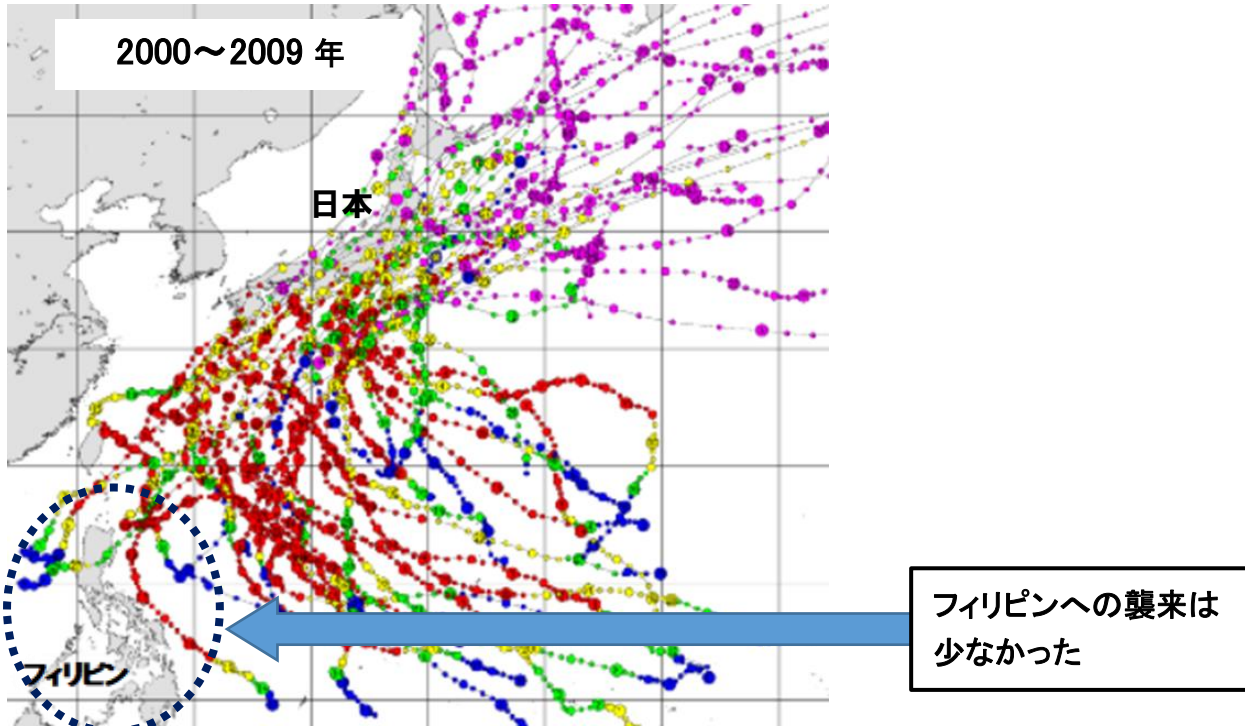
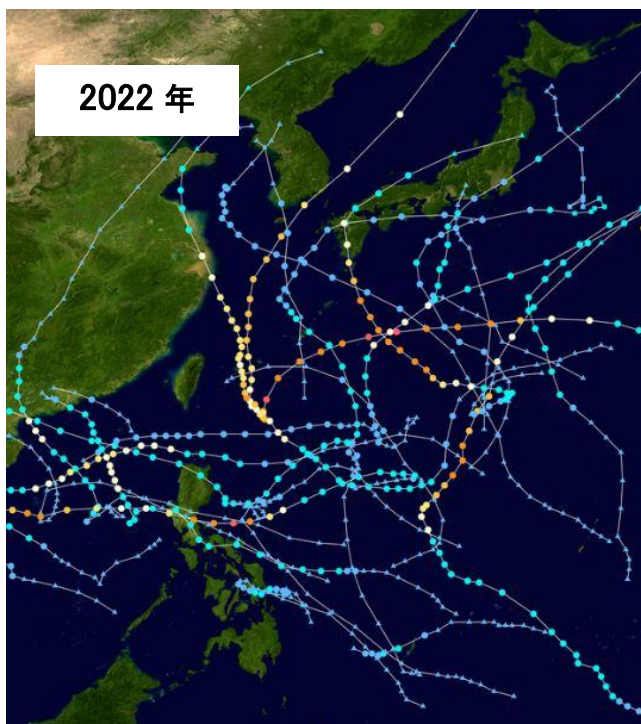


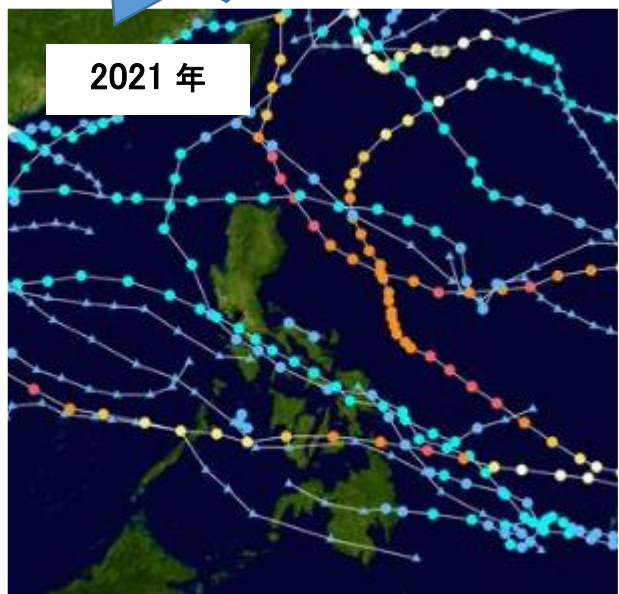
図-1 2000～2009 年の台風軌跡

(出典: 国立情報学研究所北本研究室「デジタル台風: 台風画像と台風情報」)



2022 年

近年は毎年強大な台風が襲来



2021 年

図-2 2021・2022 年の台風軌跡

(出典: 同上)